

# 秋の鳥取県埋蔵文化財センターは 山城ざんまい!

鳥取県埋蔵文化財センターでは、今年度から中世城館の調査研究を行っています。  
そこで、今秋の埋蔵文化財センターでは、9月1日に開催する考古学フォーラム『戦国時代の転換点 3つの籠城戦を読み解く』を皮切りに、中世の山城をテーマにした企画展を開催します。鳥取県内の発掘調査や研究事例にとどまらず、隣県での発掘調査から見てきた山城や砦の真の姿、因幡と伯耆に大きな影響を及ぼした但馬山名氏、出雲尼子氏に関連する遺跡や出土品の紹介などもりだくさんの4か月間です。

鳥取に居ながらにして、他県の山城についても知ることができる、欲張りなシリーズです!

## 鳥取まいぶん講座

9月21日(土)、10月19日(土)  
11月16日(土)、12月21日(土)  
午後1時30分～午後3時

## 前期企画展

### 中国地方の中世城館展

9月2日(月)～10月25日(金)



安来市富田城跡周辺の航空写真

## 後期企画展

### 因幡伯耆の中世城館展

11月4日(月)～12月27日(金)



鳥取市鳥取城跡の曲輪

鳥取城や鶴尾(ひよどりお)城、鹿野城、くしな城、十万寺城などの城跡を念入りに歩き、城の構造などについて詳細な調査を進めています。調査中ですが、途中経過を報告します。

## 山城ウォーク

- 10月12日(土) くしな城ウォーク(鹿野町)
- 10月26日(土) 鶴尾城ウォーク(鳥取市)
- 11月9日(土) 鳥取城関連ウォーク(鳥取市)
- 11月中(※調整中) 海の城ウォーク(鳥取市)

※イベントの詳細や調整中の日程については、ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

お問い合わせ・お申し込み先

## 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

TEL 0857-27-6711

FAX 0857-27-6712

ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/maibun>

メールアドレス [maibuncenter@pref.tottori.lg.jp](mailto:maibuncenter@pref.tottori.lg.jp)



# 中国地方の中世城館展

期間：9月2日（月）から10月25日（金）まで

平日 午前9時～午後5時

（※9月7・21日（土）、10月5・19日（土）午後1～5時は特別開館）

中世の山城は土の城でした。400年以上経つと土塁は崩れ、堀は埋もれ、樹木が生い茂り、当時の姿や景観は想像するしかありません。鳥取県では鳥取西道路建設に伴い、一部城跡の発掘調査が行われましたが、全貌を明らかにすることはできていません。一方、岡山県や島根県では近年の公共事業に伴い、山城の発掘（完掘）調査が行われ、これまで分らなかった当時の様子が見えてきました。いずれもめったに見ることのできない遺跡です。その調査成果を出土品や写真パネルで紹介します。

また、鳥取に関係の深い但馬山名氏の居城であった此隅山城、出雲尼子氏の居城であった月山富田城などについても関係機関の協力をいただき、出土品や解説パネルなどで紹介します。

## 前期 岡山・兵庫北部の中世城館

9月2日（月）～9月27日（金）



- ①岡山県倉敷市南山城跡（陶磁器、土師器、瓦）  
真備町で平成29年から河川合流点付替え工事に伴って発掘調査が行われ、戦国時代後半における山城の様子が明らかとなりました。
- ②兵庫県宮内堀脇遺跡（陶磁器、土師器、瓦）  
豊岡市出石町の此隅山城の麓で、平成7～10年にかけて道路改良事業に伴って発掘調査が行われ、山名氏の守護所の様子が明らかとなっています。

## 後期 島根の中世城館

10月4日（金）～10月25日（金）



- ①島根県浜田市静間城跡（陶磁器、土師器、石製品）  
平成28年に国道9号の改良工事に伴って発掘調査が行われ、戦国時代前半における居館を兼ねた山城の様子が明らかとなりました。
- ②島根県国史跡富田城跡（陶磁器、土師器、石製品）  
昭和52年から史跡整備に伴い、発掘調査が継続的に行われ、尼子氏以降の中近世の山城の様子が明らかになってきています。

## 鳥取まいぶん講座

事前申し込みが必要です。  
定員に満たない場合は当日参加もできます。

岡山県と島根県で発掘調査された城跡について、調査担当者から直接講演していただきます。

9月21日（土）

みなみやまじょう

『岡山県南山城跡の発掘調査から』

岡山県古代吉備文化財センター 米田 克彦

南山城跡は、丘陵上に幅2～3m、深さ1.5mの連続した縦堀18条や幅5.9m、深さ2.8mの堀切、虎口、横矢、建物跡、櫓台などが確認され、出土遺物も多く出土しています。堅固な防御施設の規模や配置、城内での将兵の生活など、400年の時を経て、山城の全貌が明らかとなった重要な発見です。必見の価値があります。

10月19日（土）

ふげんだとりで

『島根県普源田砦跡の発掘調査から』

島根県埋蔵文化財調査センター 角田 徳幸

国道9号の改良工事に伴い、平成30年に発掘調査され、丘陵上で高低差が5mある大規模な堀切や広範囲につくられた縦堀、建物跡などが見つかри、遺物も多く出土しています。

城全体を発掘調査した事例は稀で、曲輪での生活や防御施設の規模や配置など小規模城郭の認識を改める発見です。こちらも必見です。